

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からののお知らせはホームページにも掲載しています)

若手会員の会運営委員会 新委員長就任挨拶

若手会員の会運営委員会委員長 佐藤 裕 (東北大学)

Policy Speech of the New Chairman of the WELNET Steering Committee

平成18～19年度の若手会員の会運営委員会委員長に就任することになりました佐藤と申します。私自身、まだまだ若輩ものであり、これまで当会の活動・運営を支えてこられました諸先輩方の功績を汚すことなく当会の舵取りができるかどうか、いささか不安ではありますが、当会の活動理念や活動実績を踏まえ、変えるべきところは変えながら、活動を展開していきたいと考えております。宜しく願い申し上げます。

私自身、当会の活動は自主的なものであるべきと考えています。既存の基本活動であるフォーラム、セミナー、勉強会、見学会なども同様です。すなわち、「当会に入会してよかった」と全ての皆さんが感じられるような会であるべきで、強制されて遂行する活動は極力避けたいと考えています。近年、個々の会員が当会における活動のメリットとして重視するポイントが多様化していることも承知しています。研究や業務のプラスになるような人的ネットワークの形成に重点を置かれる方、同一分野あるいは異分野間の学術・技術交流のために利用したい

方、いろいろあろうかと思えます。個々の会員がメリットを享受できるよう耳を傾け、サポートすることが私の役目と考えております。

当会においても、若い世代へのバトンタッチがスムーズに進まなくなっている事実があります。この問題の解決にも、当会に関わる皆様全てが何らかの形でメリットを享受することが、若い世代に魅力的な会として受け入れてもらえる近道と考えています。

会員の皆様におかれましては、無理のない範囲で当会を大いにご活用いただき、若手研究者・技術者間のネットワークをより一層広げていただきたいと思います。また、皆様の自由かつ自主的な活動を心から歓迎し、支援させていただきます。さらに、当会では“WELNET”というメーリングリストを作成し、当会に関することはもちろんのこと、様々なご意見やご質問を受付けております。是非とも気軽にご利用いただきたいと思います。今後とも、当会の活動に対しましてご支援、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第34回若手会員の会 運営委員会報告

Minutes of the 34th Meeting of the WELNET Steering Committee

去る4月13日、溶接学会全国大会の開催に合わせて、若手会員の会運営委員会を開催しました。今回は2年一期の運営委員の交代時期にあたったことから、若手会員の会運営委員の交代と業務の引継ぎを行いました。その前後に、昨年度の会計報告、活動状況の確認、今年度の活動計画について議論が行われました。例年になく、議論の時間が足りなかったため、決定に至らず、今後の継続審議となった案件も多数ありました。以下に会員の皆様にも関連する事項についてご報告申し上げます。

日時：平成18年4月13日（木）12:00～12:30

場所：東京ビックサイト 6階会議室601

出席者：委員長、副委員長ほか運営委員 計13名

1. 運営委員の交代および業務の引継ぎ

委員長、副委員長、会計のほか各役員の交代・就任が承認されました。運営委員会の新体制に関する詳細は、当会のホームページに掲載されますのでご参照下さい。

2. グローバルネットワーク形成プロジェクトへの支援

特に東南アジア地域を対象とした国際的な情報交換や人的交流あるいは活動の場を形成するためのグローバルネットワーク形成プロジェクトが溶接学会に属する若手メンバー主体で活動中です。このプロジェクトに対して当会が全面的に支援を行っており、昨年度は以下の2回のセミナーが行われたことが報告されました。

・日韓合同シンポジウム

開催日：2005年6月24日

場所：韓国・ソウル

参加人数：5名

・ジョイントシンポジウム

開催日：2005年10月20日

場所：インド・ムンバイ

参加人数：7名

さらに、2006年5月18日に中国・北京にてアジア若手研究者フォーラムが予定されており、このセミナーへの講師派遣など継続して支援することが確認されました。

3. ホームページの外注について

当会の活動を常にアップデートし、広く公表するための措置としてホームページ管理の外部委託について提案があり、今後、継続して検討することとなりました。

4. イブニングフォーラム

次回秋季大会全国大会（札幌）でのイブニングフォーラムでは、例年どおり「若手講演者の研究紹介と若手会員の交流会」を実施し、新たにポスター賞を設けることが決定しました。ポスター賞の選定方法など詳細については継続して検討することとなりました。

5. 今後の活動について

恒例行事となっている勉強会、セミナー、見学会の開催について、検討されましたが、その場では決定に至りませんでした。今後も継続審議とさせていただきたいと思っております。

継続審議となった案件について、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。当会は「楽しく参加できる会」を目指しており、さらなる活動の活性化のため、運営委員会では常に新しい力の参加を求めています。

今後も若手会員の会に幅広いご協力・ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

佐藤 裕（若手会員の会運営委員会委員長、東北大学）